

令和6年度「山形学」第3回講座 実施報告書

◆日時: 11月30日(土) 13:00~16:00

◆会場: 遊学館 第1研修室・第2研修室

◆テーマ: 大テーマ「おもしろ農楽」

第3回テーマ「おいしい山形のルーツを探り、未来へつなぐ~つながる~」

◆内容:

講師 佐藤純氏(「山形学」実行委員)

パネリスト 井上貴利氏・夏氏(鶴岡市・井上農場)

小林温氏(高島町・おきたま興農舎)

土屋喜久夫氏(寒河江市・四季ふぁーむ)

牧野聡氏(河北町・まきの農園・かほくらし社)

結城こずえ氏(天童市・まるつね果樹園)(以上五十音順)

コーディネーター 廣瀬隆人氏(「山形学」アドバイザー)

実行委員 杉澤栄一氏、村山秀樹氏、中川恵氏

◆プログラム:

12:55 事務連絡

13:00 開講

13:05 講話「農サポやまがたにおける新規就農に向けた支援について」

佐藤 純氏

13:35 休憩(10分)

13:45 パネリストインタビュー

14:45 グループワーク・生産者商品の紹介・購入

15:50 閉講式・事務連絡

16:00 閉会

◆参加者数: 42名

◆当日の様子

○講話「農サポやまがたにおける新規就農に向けた支援について」

本県農業従事者の現状を将来の展望、新規就農者の推移、そして農業支援サポートセンターや県の新規就農者支援について、30分という限られた時間の中でコンパクトにまとめてお話しいただきました。新規就農者には、強い意志や農業への志が必要とされるのはもちろんのこと、経済的な展望も必要とされることなどを学びました。

○インタビュー

会場を第1研修室に移してのスタート。受講生には興味のある生産者ブースに座っていただき、廣瀬アドバイザーによるインタビューを行いました。紹介も兼ねながら、各パネリストに合わせた質問はどれも興味深く、それぞれのパネリストの皆さまの人となりを感じられる貴重な時間となりました。

○グループワークと農産物紹介・購入

スタートとの掛け声と同時に、各ブースで和やかな雰囲気ではじめの会話が済み、20分程度経過した時点で一度グループを入れ替えしました。グループワークの後半に設けた買い物タイムでは、受講生の皆さんがお目当ての農産物を手に取りパネリストと交流しながら買い物を楽しみました。

○実行委員より挨拶

実行委員より講座の締めくくりとしての挨拶をそれぞれお話しいただきました。

参加者の声

- ・直接生産者の方の声を聞けるのは、めったにない機会なので興味深かったです。就農支援の内容についても聞けて、参考になりました。
- ・最後のメニューは何かと楽しみにしておりました。なんと生産者の方々とお話しできるとは…。長年食べているものも何も知らないでいたことばかりです。生産者の方々には、必ずまた何かの機会でお会いしたい方々ばかりです。
- ・生産者の想いを沢山聞くことができ、消費者としても協力していきたいと思いました。
- ・生産者の皆さんのお話を直接聞く機会はなかなかないので、どのような点にこだわっているのか、どんなことで苦労しているのか、生産者でないとわからないようなお話しに触れることができ、とても満足しました。



廣瀬アドバイザー



講話の様子 (第2研修室)



講話の様子 (第2研修室)



グループワーク (土屋氏)



インタビュー(井上氏)



インタビュー(牧野氏)